

科目名 日常生活援助技術 I	配当時期 1年次前期	講義担当者	
時間割表記名 日常生活援助技術 I (環境)(活動・休息)	単位数 1単位 時間数 30時間(16回)	市場美織 樋口裕也 (実務経験のある教員)	
事前学習内容 演習前には技術の動画を視聴する。 ベッドメイキングの演習前には、テキストと動画を活用しながら、技術の根拠を含めた手順をレポートにまとめる。 車いすの演習前には、テキストと動画を活用しながら、車いす部位の名称等を含め点検内容をレポートにまとめる。			
授業目標 1. 対象における環境の意義を理解し、その調整のための技術を実践できる。 2. 人間にとっての活動および休息の機能を理解し、それぞれに関わる援助技術を実践できる。			
DPとの関連 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。 DP5. 自己を理解し、他者を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	療養生活の環境 1)人と環境 2)療養生活と環境 3)生活環境の調整	講義	テキスト①②資料
2	病室の環境のアセスメントと調整 1)病室・病床の選択 2)湿度・温度 3)光と音 4)病棟の構造、病床の種類、寝床に必要な条件、病床としての寝床	講義 グループ学習	テキスト①②資料
3	援助の実際 1)ベッド周囲の環境整備 2)療養環境におけるインシデント 【環境整備】	講義 演習	テキスト①②資料
4	ベッドメイキング	講義	テキスト①②資料
5	【リネンの種類とそのたたみ方、下シーツの作り方・包布を使用した上掛けの作り方・枕カバーの装着】	演習(技術)	
6	臥床患者のシーツ交換 【看護師2名での臥床患者のシーツ交換】	演習(技術)	テキスト①②資料
7	活動の意義 対象における姿勢・体位の意義や充足のための援助技術	講義	テキスト①②資料

	1)姿勢、動作、作業域、ボディメカニクス 2)基本的な体位、良肢位 3)同一体位による影響(苦痛、関節拘縮・変形、循環障害・ 神経麻痺、褥瘡)の予防		
8	対象における活動、移動の実際 【①水平移動②仰臥位から側臥位③仰臥位から長座位④ 長座位から端座位】	演習(技術)	テキスト①②資料
9	対象における活動、移動の援助技術 1)移乗・移送の援助の基礎知識 2)車椅子とストレッチャーの安全点検 3)車椅子およびストレッチャーを用いた移乗・移送の援助	講義	テキスト①②資料
10 11	対象における活動、移動の実際 【①車椅子への移乗・移送、点検②ストレッチャーへの移乗・ 移送③スライダー(シーツ・担架)を利用した移動】	演習(技術)	テキスト①②資料 * 11 回目 45 分
12	休息の意義 睡眠と休息の援助 1)睡眠の生理 2)サーカディアンリズムとは 3)生活リズムを整える必要性とその援助	講義	テキスト①②資料
13 14	技術試験(臥床患者のシーツ交換)	試験(技術)	
15	技術試験(車椅子への移乗・移送)	試験(技術)	
16	筆記試験(45分)	試験(筆記)	
<p>受講上の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ○技術が習得できるように各自で練習を行う。 ○事前・事後学習をきちんと行う。 			<p>評価方法</p> <p>技術試験 筆記試験 課題</p>
<p>使用するテキスト</p> <p>①系統看護学講座 専門分野 基礎看護学〔3〕 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 ②看護技術プラクティス 第4版 学研メディカル秀潤社</p> <p>参考文献</p> <p>①根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院 ②系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院 ③看護形態機能学 第4版 日本看護協会出版会</p>			